



編集・発行

特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会
URL: <https://syospo-tochigi.org/>
〒320-8508 宇都宮市若草1丁目10番6号
とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター内
TEL.028(624)2761 (FAX兼用)
発行人 駒崎 茂

最高得点10点獲得者が 4名出ました！ 第17回栃木県障害者 コントロール・アタック大会 開催！

主催：特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会 期日：令和8(2026)年3月15日(日)
会場：とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(わかくさアリーナ)



コントロール・アタック(略称:コンタック)は、本協会が研究開発した競技で、県内各地のスポーツ教室で盛んに行われています。パラリンピック正式競技のポッチャを原型としていますが、指定の場所から得点表示円に投げ、円内に入った合計得点により勝敗を決定します。誰もが楽しめるユニバーサルスポーツです。



詳しくはこちらから▶

令和8(2026)年3月15日(日)、とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(わかくさアリーナ)で、『第17回栃木県障害者コントロール・アタック大会』を開催いたしました。
今大会には県内各地から38チーム(147名)が参加し、過去最大規模の大会となりました。
大会は、平成21(2009)年に第1回大会を開催しましたが、令和7(2025)年からは、障害の有無、年齢、性別にかかわらず、全ての人が平等に参加できる仕組みとして、競技を目的とした「ファイティング部門」と交流を目的とした「フレンドシップ部門」を設け、インクルーシブ大会として再スタートを切りました。
前回大会にも増して、参加者一人ひとりが自分らしく挑戦し、互いを認め合いながら競技し、和気あいあいと楽しい時間を共有しました。

ファイティング部門 (28チーム参加)

優勝	ゆうがおB	
準優勝	いちごA	
第3位	ベリーゴールド	栃木心光会

フレンドシップ部門 (10チーム参加)

優勝	ききょう	
準優勝	F.D.Cotton もおかK	
第3位	仲良し	スターエイトアイランド

令和7(2025)年度 栃木県障害者スポーツ地域連絡協議会

【主催】 栃木県、特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会
【期日】 令和8年3月8日(日)
【場所】 とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター

【参加団体】

○競技団体等 20名
栃木県障がい者陸上競技協会、栃木県知的障がい者水泳協会(栃木うみがめ)、栃木県障害者卓球連盟、栃木県パラアーチェリー協会、栃木県障害者フライングディスク協会、栃木県パラスポーツ指導者協議会ボウリング専門委員会、栃木県ボッチャ協会、栃木県知的障害男子バスケットボール部、栃木県知的障害女子バスケットボール部、栃木レイカース、栃木県知的障害男子バレーボール部、栃木県障害者バレーボール(精神)、栃木県知的障害者サッカー連盟、スペシャルオリンピックス日本・栃木
○オブザーバー 14名
栃木県パラスポーツ指導者協議会、(一社)栃木県理学療法士会、(一社)栃木県作業療法士会、国際医療福祉大学、とちぎスポーツ医学科学センター、栃木県スポーツ推進委員協議会
○事務局 7名
(特非) 栃木県障害者スポーツ協会、栃木県保健福祉部障害福祉課

県内の障害者スポーツ競技団体が一堂に会し、本県の障害者スポーツ振興の現状や課題、課題解決に向けた取組等を情報交換し、相互に協力し合える関係づくりを促進することを目的として、3月8日(日)に「栃木県障害者スポーツ地域連絡協議会」を開催しました。

今年度新たに「とちぎスポーツ医学科学センター」「栃木県スポーツ推進委員協議会」の皆様におブザーバーとして仲間に加わっていただきました。

第2部での「グループ情報交換」については、昨年度に比べ、皆様からより具体的な改善案が出てきているように見受けられ、今後の事業執行に大いに参考になりました。

【第1部 基調講演】

作新学院大学経営学部スポーツマネジメント学科准教授の武田作郁(たけだ さくふみ)先生に「スポーツ現場におけるハラスメントについて考える」というテーマでご講話いただき、安心・安全なスポーツ環境づくりの重要性について理解を深めました。

スポーツに関わるすべての人が尊重される環境づくりについて、考える貴重な機会となりました。



武田作郁先生(作新学院大学経営学部スポーツマネジメント学科准教授)

【第2部 事例発表・情報交換】

栃木県知的障害男子バスケットボール部の塩田創監督から、日頃の指導やチームづくりの取り組みについて発表していただきました。

その後、グループに分かれて各団体の取り組みや課題について情報交換を行い、最後に各グループで話し合った内容について情報を共有いたしました。



栃木県知的障害男子バスケットボール部塩田監督による事例発表



競技団体間での情報交換①



競技団体間での情報共有②

【第3部 情報提供】

栃木県保健福祉部障害福祉課社会参加促進担当文化スポーツ推進チームの立川係長から「栃木県における障害者スポーツ振興施策」についてご説明いただきました。

当協会といたしましては、スポーツスクールや地域連絡協議会を通して、障害者スポーツ関係団体の皆様が組織の枠を超えて、相互に協力し合える関係づくりを構築することにより、今後の障害者スポーツの発展につなげたいと考えています。



栃木県障害福祉課、立川係長による情報提供

令和7(2025)年度 栃木県 パラスポーツ指導員(初級)養成講習会

【主催】栃木県、特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会
 【期日】令和7年11月15日(土)・22日(土)・29日(土)・12月6日(土)
 【場所】とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター

令和7(2025)年11月15日(土)、11月22日(土)、11月29日(土)、12月6日(土)の4日間にわたり、とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(わかくさアリーナ)にて、パラスポーツ指導員(初級)養成講習会を開催し、受講された15名の方が講習会の全課程を修了しました。

講習会は、障害者へのスポーツ指導に意欲を持つ人に対して、スポーツ指導に必要な理論及び技術等の講習を行い、専門的な知識を身につけた指導者を養成することを目的として開催しました。

講義では、各障がい(身体、知的、精神)の理

解や、障害者スポーツの指導上の留意点と工夫について学び、実技の科目では、車いすバスケットボールやボッチャ等を体験しました。

また、4日間を通して受講者たちは積極的にコミュニケーションを図り、交流を深めました。

受講者からは「体験することで不安が少なくなった」「実技や審判を体験できた事が勉強になった。またパラスポーツの歴史や現在の取り組み等も興味深い内容だった」「各障害について知らなかったことが多く、今後の障害者との関わり方について新たな気付きに繋がった」などの感想が寄せられています。

本講習会をきっかけに、今後、皆さんが地域でご活躍されることを期待しています。

本講習会は、令和8年度も同時期に行う予定です。



車いすバスケットボール(実技)



パラスポーツに関する諸施策(講義)



ボッチャ(実技)

伊東美和選手と増田香音選手に 栃木県知事特別表彰 (栃木県スポーツ功労賞)授与

【主催】栃木県
 【期日】令和8年1月23日(金)
 【場所】栃木県庁 特別会議室

昨年開催された東京デフリンピック2025にサッカー女子の代表選手として出場した、伊東美和(いとう みわ)選手と増田香音(ますだかのん)選手に、栃木県庁にて知事特別表彰(栃木県スポーツ功労賞)の授与式が行われました。

伊東選手は、同大会で主将を務めるなど、銀メダル獲得に大きく貢献し、県民に感動と希望を与えてくれたことが評価されました。

両選手の栃木県知事特別表彰(栃木県スポーツ功労賞)の受賞は初となります。

このたびの受賞、心よりお祝い申し上げます。



左から、増田選手、福田知事、伊東選手

伊東 美和
 上三川町出身。茨城県在住。小3でサッカーを始め、宇都宮文星女子高校3年の時にはキャプテンを務めた。「つくばFCレディース」所属。2020年第28回全日本高等学校女子サッカー選手権大会出場。2023年第4回ろう者サッカー世界選手権大会inマレーシア出場。今大会では主将を務めた。

増田 香音
 足利市出身。兄の影響でサッカーを始める。中学生から足利市を中心に活動する女子サッカーチーム「両毛フェリスローザFC」で活動。デフフットサルの日本代表にも選出され、デフフットサルワールドカップ2025inイタリアではゴールを決めるなど日本チームの勝利に貢献した。

川村博行氏 令和7(2025)年度 (公財)日本パラスポーツ協会 『功労章』受賞

【主催】公益財団法人日本パラスポーツ協会
【期日】令和8年2月6日(金)
【場所】ロイヤルパークホテル水天宮前

栃木県パラスポーツ指導者協議会理事の川村博行（かわむら ひろゆき）氏が（公財）日本パラスポーツ協会より長年にわたりパラスポーツの発展に功績のあった方に贈られる『功労章』を受賞しました。

このたびの受賞、心よりお祝い申し上げます。



川村博行氏の主な功績内容

2002年にパラスポーツ指導員資格を取得し、各地域の障害者スポーツ教室で講師を務めるなど、本県の障害者スポーツ振興に大きく貢献した。2018年からは栃木県パラスポーツ指導者協議会の理事に就任。同協議会の発展に大きく貢献し、現在に至る。同年には、「栃木県ポッチャ協会」及び「栃木県卓球バレー協会」の設立に尽力し、競技の普及に貢献した。2022年に本県で開催された全国障害者スポーツ大会では、ポッチャ競技及び卓球バレー競技の運営で中心的な役割を果たし、成功に導いた。2025年の全国障害者スポーツ大会では、本県選手団のポッチャ競技監督を務めるなど、選手や指導者からの信頼も厚く、模範となっている。

令和7(2025)年度 (特非)栃木県障害者スポーツ協会 顕彰受賞者

【主催】特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会
【期日】令和8年2月28日(土)
【場所】とちぎ福祉プラザ特別会議室

令和8(2026)年2月28日(土)、とちぎ福祉プラザ特別会議室で(特非)栃木県障害者スポーツ協会顕彰式を行いました。障害者スポーツ競技の指導や普及に尽力した1名1団体に「障害者スポーツ功労賞」、国内外の大会で好成績を収めた8名に「優秀選手賞」を授与しました。

(敬称略)

【障害者スポーツ功労賞】

■黒川 恵里 ■もおかスポーツクラブ

【優秀選手賞】

- 澤田 陽南（第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」陸上競技800m、1位（大会新））
- 市田 敬一（第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」陸上競技砲丸投、1位（大会新））
- 大島 茄巳琉（第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」水泳50m背泳ぎ、2位（大会新））
- 大久保 史弥（Virtus World Futsal Championship 2025 フットサル、3位）
- 増田 香音（東京2025デフリンピック 女子サッカー、2位）
- 伊東 美和（東京2025デフリンピック 女子サッカー、2位）
- 辻 結名（東京2025デフリンピック ゴルフ、個人戦7位、混合団体戦8位）
- 村野 美幸
（東京2025デフリンピック ボウリング、団体戦8位）

上左から立川係長（県障害福祉課）、澤田選手、大島選手、増田選手、伊藤選手、村野選手、阿久津事務局長（当協会）
下左から松本副会長（もおかスポーツクラブ）、市田さん、小川課長（県障害福祉課）、ナイチュウ（とちぎナイスハート推進マスコットキャラクター）、駒崎会長（当協会）、渡邊事務局長（県聴覚障害者協会）、大久保選手



令和7(2025)年度特別支援学校等スポーツ活動支援事業報告

<親子で楽しむ スポーツ・レクリエーション体験会の開催>

特別支援学校、特別支援学級及び普通学級に在籍する障害のある児童、生徒がスポーツを気軽に親しむ機会を設けるとともに、スポーツに対する興味・関心を高め、自発的にスポーツに取り組むきっかけづくりを目的に、様々な障害者スポーツの体験会を実施しました。延べ108名が参加しました。

終了後のアンケートでは、参加者の皆様から多くの前向きな感想と、その後の変化についてもお声をいただき、本体験会がスポーツへの関心や継続した活動につながっていることを大変うれしく思います。

本体験会は、次年度も行う予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

	日時	会場	種目	参加人数
県北会場	7月5日(土) 14:00~16:00	矢板市文化スポーツ複合施設	フライングディスク	28名
	7月26日(土) 14:00~16:00	王冠ボウル	ボウリング	12名
県中央会場	9月21日(日) 14:00~16:00	宇都宮第二トーヨーボウル	ボウリング	20名
	2月7日(土) 14:00~16:00	とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター (わかくさアリーナ)	フライングディスク	17名
県南会場	1月24日(土) 14:00~16:00	足利スターレーン	ボウリング	31名

【体験会参加者の感想】

◆参加してみて…

- ・楽しく競技を体験できた。
- ・講師やボランティアの丁寧な指導もあって、安心して参加できた。
- ・初めて会った人とも楽しく交流ができた。

◆体験会をきっかけに…

- ・地域のチームに入り継続して運動している。
- ・ウォーキング、ストレッチやヨガを始めた。
- ・ボウリングなどの新たなスポーツに興味をもった。



7月5日：矢板市文化スポーツ複合施設
(フライングディスク)



7月26日：王冠ボウル
(ボウリング)



1月24日：足利スターレーン
(ボウリング)

第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」の概要

【期 日】 令和8（2026）年10月23日（金）～26日（月）

※栃木県選手団の派遣期間

（1）陸上競技・水泳：10月21日（水）～26日（火）

（2）アーチェリー・卓球（STT）・フライングディスク・ボウリング・ボッチャ：10月22日（木）～27日（火）

【開・閉会式会場】

マエダアリーナ（新青森県総合運動公園／青森市）

【個人競技及び会場】



第24回全国障害者スポーツ大会
「わたSHIGA輝く障スポ」

	競技名	開催地市町	競技会場名
個人競技	陸上競技（身体・知的）	青森市	カクヒログループアスレチックスタジアム
	水泳（身体・知的）	青森市	マエダアリーナ50mプール
	アーチェリー（身体）	青森市	新青森県総合運動公園 投てき・アーチェリー場
	卓球（身体・知的・精神） 【サウンドテーブルテニスを含む】	青森市	カクヒログループスーパーアリーナ
	フライングディスク（身体・知的）	弘前市	弘前市運動公園陸上競技場
	ボウリング（知的）	三沢市	三沢ボウル
	ボッチャ（身体）	弘前市	青森県武道館

身体＝身体障害者が出場できる競技、知的＝知的障害者が出場できる競技、精神＝精神障害者が出場できる競技

第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」派遣選手（個人競技）募集

毎年開催されている障害者スポーツの全国的な祭典である「全国障害者スポーツ大会」が、2026年は青森県で開催されます。

栃木県では、下記のとおり個人競技（7競技）の派遣選手を募集します。参加申し込みには当たっては、参加日程が5泊6日と長期になりますので、学校や職場等にも確認をお願いします。

なお、派遣選手の決定については、派遣選手選考会議（6月上旬開催）において選考の上、決定します。
※当協会ホームページで案内しています。

■募集競技

陸上競技（身体・知的）、水泳（身体・知的）、フライングディスク（身体・知的）、アーチェリー（身体）、卓球（身体・知的・精神）（サウンドテーブルテニス【身体】を含む）、ボウリング（知的）、ボッチャ（身体）

■参加資格※①～⑥の全てに該当する方です。

- ①令和8（2026）年4月1日現在で13歳以上の身体障害者、知的障害者及び精神障害者
- ②栃木県内に現住所を有する方又は栃木県外に住所を有する方で、栃木県に所在する学校や施設等に通学並びに入所及び通所している方
- ③日頃からスポーツ活動に取り組み、大会にも積極的に参加するなど、スポーツを通じた社会参加と競技力の向上に意欲を有する方
- ④栃木県選手団の一員として、集団生活・行動ができる方
- ⑤全国大会派遣に伴う関連行事（合同練習会、結団式等）に参加できる方
- ⑥原則として、令和8年度第22回栃木県障害者スポーツ大会の出場予定者

■参加申込方法

- （1）在宅者は、在住の市町障害福祉担当課又は市町の社会福祉協議会から申し込むこと。なお、競技団体に所属する方は、競技団体からの申し込みも可能です。
- （2）障害者福祉施設、特別支援学校・学級、栃木県手をつなぐ育成会及びスペシャルオリンピックス日本・栃木に加入されている方は、各所属先にお申し込みください。

■申込期間

令和8（2026）年4月7日（火）～4月24日（金）

■その他

- ・原則として、全国大会への連続出場は3回までとなります。
- ・派遣選手として選出された場合には、参加負担金として選手一人当たり10,000円を負担していただきます。
- ・派遣決定後、派遣期間等全日程の参加が困難であることが判明した場合は、派遣決定を取り消すことがあります。

第22回栃木県障害者スポーツ大会開催のお知らせ

【期 日】

個人競技：令和8(2026)年5月17日(日)・24日(日)

団体競技：令和8(2026)年9月19(土)・27日(日)・10月4日(日)

※荒天又は感染症等、その他の都合により、主催者と競技主管団体等と協議の上、実施できないと判断した場合は中止とします。

【主 催】

栃木県、栃木県教育委員会、宇都宮市、(福)栃木県社会福祉協議会、栃木県身体障害者団体連絡協議会、栃木県特別支援学校長会、(特非)栃木県障害施設・事業協会、(一社)栃木県手をつなぐ育成会、栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会、(一財)栃木県精神衛生協会、(特非)栃木県障害者スポーツ協会

【実施競技及び会場】

	競技名等	候補日	会 場
	開会式・閉会式		栃木県総合運動公園 カンセキスタジアムとちぎ
個人競技	陸上競技 (身体・知的)	5/17 (日)	栃木県総合運動公園 カンセキスタジアムとちぎ
	アーチェリー (身体)		宇都宮市みずほの中央公園 アーチェリー場
	卓球 (身体・知的・精神) 【サウンドテーブルテニスを含む】		とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター (わかくさアリーナ)
	フライングディスク (身体・知的)		栃木県総合運動公園 多目的広場 (投てき場)
	ボッチャ (身体)		とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター (わかくさアリーナ)
	水泳 (身体・知的)		5/24 (日)
	ボウリング (知的)		宇都宮第二トーヨーボウル
団体競技	バスケットボール (知的)	9/19 (土)	日環アリーナ栃木メインアリーナ
	車いすバスケットボール (身体)		日環アリーナ栃木メインアリーナ
	ソフトボール (知的)	9/27 (日)	栃木県総合運動公園 野球場B
	フットソフトボール (知的)		栃木県総合運動公園 野球場C
	バレーボール (身体・知的・精神)	10/4 (日)	日環アリーナ栃木メインアリーナ
サッカー (知的)	栃木SC宇都宮フィールド (宇都宮市サッカー場)		

身体=身体障害者が出場できる競技、知的=知的障害者が出場できる競技、精神=精神障害者が出場できる競技

【オープン競技及び会場】

競技名	期日	会 場
卓球バレー	8/29 (土)	とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター (わかくさアリーナ)

【参加募集について】

個人競技の参加募集は、3月11日をもって締め切っております。

ぜひ会場にお越しいただき、真剣に競技に取り組む選手の応援をお願いします！

※公共交通機関をご利用ください。



第22回栃木県障害者スポーツ大会 開会式

令和8(2026)年度 主要行事予定一覧

令和8(2026)年

5/17(日)	栃木県障害者スポーツ大会 個人競技 (陸上競技・アーチェリー・卓球【サウンドテーブルテニスを含む】・フライングディスク・ボッチャ)
5/24(日)	栃木県障害者スポーツ大会 個人競技 (水泳・ボウリング)
6/13(土)	とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター 県民の日無料開放デー
8/22(土)	パラスポーツスクール (とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター)
8/29(土)	栃木県障害者スポーツ大会 オープン競技 (卓球バレー)
9/12(土)	パラスポーツスクール (国際医療福祉大学)
9/19(土)	栃木県障害者スポーツ大会 団体競技 (バスケットボール・車いすバスケットボール)
9/27(日)	栃木県障害者スポーツ大会 団体競技 (ソフトボール・フットソフトボール)
10/4(日)	栃木県障害者スポーツ大会 団体競技 (バレーボール・サッカー)
10/23(金)～ 10/26(月)	第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」
11/14(土)・21(土) ・28(土)・12/5(土)	初級パラスポーツ指導員養成講習会
令和9(2027)年	
3/14(日)	第18回栃木県障害者コントロールアタック大会

詳しい情報は、当協会ホームページをご確認ください。

令和8(2026)年度 初級パラスポーツ指導員養成講習会 受講者募集のお知らせ

- 【期 日】 令和8(2026)年11月14日(土)、11月21日(土)、11月28日(土)、12月5日(土)
- 【会 場】 とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター
- 【受講資格】 本県在住・在勤(在学)の18歳以上の方
- 【定 員】 20名(定員を超えた場合は抽選とします)
- 【申込方法】 所定の申込書にて、郵送・FAX・メールで当協会までお申込みください。
※申込書は、当協会ホームページからダウンロードできます。
- 【申込期間】 令和8(2026)年10月(予定)
- 【必要経費】 受講料1,000円(その他テキスト代3,500円がかかります)
詳しい情報は、当協会ホームページをご確認ください。

令和8(2026)年度栃木県障害者スポーツ協会賛助会員募集のお知らせ

当協会は、栃木県障害者スポーツ大会の開催及び全国障害者スポーツ大会出場に向けた選手の強化のほか、障害者が身近な地域でスポーツやレクリエーションに親しめるように、障害者スポーツ教室の開催、指導者の養成、障害者のスポーツ相談、障害者スポーツの情報提供、スポーツ・レクリエーション用具の貸出等の事業を行っています。

活動の趣旨にご賛同いただける企業、団体、個人の皆様を対象に賛助会員を募集していますので、ご協力をお願いいたします。賛助会員にお申込みいただける方は、事務局までご連絡ください。

個人会員	1口 3,000円	団体会員	1口 5,000円
------	-----------	------	-----------

(令和8年度3月現在 個人会員45名、団体会員11団体)



この機関紙は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。